



大久保病院だより

COPD(chronic obstructive pulmonary disease : 慢性閉塞性肺疾患)

呼吸器内科 中田潤子

呼吸とは

肺は小さな空気の袋（肺胞）が集まってできています。肺胞を広げると、テニスコート一面の広さになります。肺胞と肺胞の間には、毛細血管が網の目のように通っています。息を吐いて（呼）それから息を吸うことで（吸）肺内に新しい空気を取り込まれ、空気中の酸素が毛細血管内の赤血球に結合できます。そして、心臓という血液のポンプが、体内の各細胞に酸素を運びます。各細胞内にはエネルギーを作り出す工場（ミトコンドリア）があり、そこで食べ物（炭水化物・脂肪・たんぱく質）を酸素を使って燃やして（酸化）エネルギーを取り出し、廃棄物として二酸化炭素、水ができます。

このことから、体内でのエネルギーを作り出すには、食べ物の質、運動をすること（運動をするとミトコンドリアが増えます。）がとても大切と言えます。

COPDとは

たばこを吸うことが原因でなる「肺の生活習慣病」です。40才以上の日本人の8%、約530万人がかかっていると言われています。

病 態

たばこの煙は肺胞が破壊します。そのため、酸素を体内に取り込む場がなくなり、壊れた肺胞のせいで息が吐きにくくなります。

症 状

咳、痰、息切れ、が三大症状です。20年から40年かかって症状が出てくるので、年のせいと片付けられていることが多いです。症状が進行すると、息が吐きにくいせいで、感染症にかかりやすくなります。

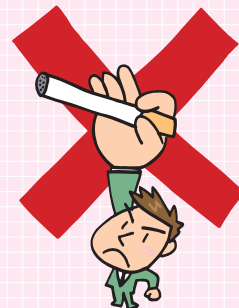
どうやったらわかるの？

まず必要な検査は、胸部レントゲン検査、呼吸機能検査です。必要に応じて、採血、心電図、胸部CTを行います。

治療法

まずは原因を取り除く、禁煙です。感染で悪くなるので、インフルエンザのワクチン、5年に1度の肺炎球菌のワクチンも、65歳以上の方には必要です。次に、呼吸リハビリテーション、当院では入院で行っています。さらには、必要なら投薬、非侵襲的陽圧換気（non invasive positive pressure : NIPPV）を考慮します。

お気軽に呼吸器内科外来でご相談下さい。



● 当院は公社病院となって10周年を迎えました ●

当院は平成16年4月に運営を東京都から公社に移管し、さる4月を以て10周年の節目を迎えました。区西部保健医療圏（新宿区・中野区・杉並区）の中核病院として、急性期医療を提供する役割を担い、腎医療・脳卒中医療・がん医療等の生活習慣病医療に重点的に取り組むと共に、救急医療にも積極的に取り組んで参りました。

引き続き、「医療で地域を支える」の理念の下、地域の医療機関との連携強化を図りながら、質の高い医療を提供し、地域医療の充実に努めてまいります。

婦人科紹介



婦人科の病気について悩んでおられる患者さんに朗報です。平成25年度から私どもは学会専門医資格を有した女性医師が毎日午前中の婦人科診療を担当しています。産科部門がないのでゆったりとした環境で病気についてお話をさせていただきます。

外来から入院・手術そして退院まで一貫した担当女性医師が受け持たせていただき、とくに低侵襲手術（下腹部に小さな穴を開けて施行する腹腔鏡下手術手術やまったく傷をつけずに施術する子宮鏡下手術などのお身体に優しい手術）を積極的に提供しています。日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医師を有し、学会研修施設の認定も受けています。



婦人科の病気について相談してみたい方は、ご紹介またはこれまでのデータなどをお持ちになりまして診察にお気軽にいらっやっしてください。月曜日から金曜日までの毎日午前中の診療ご予約お待ちしております（予約専用電話03-5285-8811）。

当院の認定看護師を紹介します！

糖尿病看護認定看護師の活動

糖尿病看護認定看護師 藤井彰子



新緑の色増す季節になってきました。私は糖尿病看護認定看護師の藤井彰子と申します。糖尿病看護認定看護師の活動についてご紹介します。

糖尿病看護認定看護師は糖尿病ケアに関する専門知識と技術をもって、入院患者さん・外来患者さん、そして職員に対して適切なケアや助言を行っています。

糖尿病看護認定看護師の仕事

	実施している活動	内 容
病棟	糖尿病カンファレンス	医師、看護師、糖尿病看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等の専門職同士で意見交換を行い、患者さんに適した支援を決定していきます。
	糖尿病教室	糖尿病教育入院※1をされている患者さん向けに月～金に各専門職がお話をさせていただきます。
外来	フットケア外来	足の壊疽の予防 足浴や爪の手入れ、できものの処置、足の手入れ方法や靴等の選び方を指導いたします。
	糖尿病腎症透析予防外来	血糖コントロールを含めた生活指導、食事指導を栄養士と共に実施いたします。
その他	糖尿病療養指導に関する相談	血糖自己測定・インスリン自己注射導入時のサポート、退院指導、フットケアなど、患者さんに深く関わるスタッフへ助言を行います。
	院内勉強会の開催	フットケア、糖尿病薬物療法、糖尿病の管理についてスタッフへ周知しています。

※1 糖尿病教育入院は糖尿病と診断された方で、毎日の生活習慣からの改善が必要な患者さんを対象としております。

こうした糖尿病による入院や外来での活動は、内分泌代謝内科の医師と相談しながら実施しております。

看護外来は、患者さんが医師に言いにくいことを話したり、相談したりする場にもなっております。糖尿病についてお困りのことがありましたら、遠慮なくお近くの職員にご連絡下さい。



フットケア外来での足浴



フットケア外来での爪の処置



公益財団法人 東京都保健医療公社
大久保病院

〒160-8488
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1
TEL 03-5273-7711(代表)
URL <http://www.ohkubohospital.jp>

